

講義名	流通システム原理特論		
科目区分	特論科目		
担当教員	白 貞壬		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 3時限		
	2018年度 大学院(修士課程) 修士課程(修士論文作成コース) / 2017年度 大学院(修士課程) 修士課程(修士論文作成コース) / 2016年度 大学院(修士課程) 修士課程(修士論文作成コース) / 2015年度 大学院(修士課程) 修士課程(修士論文作成コース)		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		講義コード	43501

### 主題と概要

本講義は、流通システムに関する基本知識の習得を目的としている。流通・マーケティング分野に関連する他の講義を履修する上で必要な基礎知識、とりわけ流通システムの構造と動態、それらを規定する要因に関する理解を深めることを狙いとしている。

### 到達目標

目標1：毎回2つまたは3つの日本を代表する研究論文を取り上げる。必ず毎回そのテキストを熟読予習し、講義中のディスカッションに加わる。目標2：ディスカッションに貢献し、議論をリードできるようになること。目標3：修士論文を作成する際に必要となる流通システムに関する基礎知識を完全にマスターすること。

### 提出課題

毎回の講義は、その回に取り上げるテキストの「報告者と討論者」各1名のプレゼンテーションを軸に、ディスカッション形式で行われる。また中間レポートを課す。

### 評価の基準

次の3側面から評価する。  
 (1) 講義への貢献度(プレゼンテーションの内容・ディスカッションへの参加度) 30%  
 (2) 中間レポート 30%  
 (3) 最終記述試験 40%

### 履修にあたっての注意・助言他

取り上げるテキストを毎回配布する。必ず事前に予習したうえで、ディスカッションに参加すること。学生からの質問・問題提起を題材にしてディスカッションする。いわゆる一方的な知識伝達としての「講義」は行わない。

### 教科書

.使用しない。

### プリント資料及び参考文献

講義初回にテキストを配布すると同時に、参考文献リストを提示する。

### 授業計画

- 授 業 計 画
- 1 講義解題・担当割り当て
  - 2 流通機能
  - 3 流通機能
  - 4 流通機能の分化と統合
  - 5 商業の社会性と売買集中の原理
  - 6 商業者の機能と存立根拠
  - 7 マーケティングと商業
  - 8 流通革命論
  - 9 卸売商業構造(新聞屋無用論を含めて)
  - 10 業態論
  - 11 業態論
  - 12 中小小売商業の存立
  - 13 流通政策
  - 14 まとめ
  - 15 最終記述試験

### 予習・復習

取り上げるテキストすべてを第1回目に配布する。ディスカッションに参加するためには、必ず事前に予習しておくこと

### 備考